



日本寺の境内を訪れる人々

通告時間 90分

広瀬 弘二 議員

# 地域主権に どう対応しますか

## 行政能力の拡充と職員の資質向上に努めます

### 地域主権のあり方について

**問** 6月に閣議決定された「地域主権戦略大綱」が実施されてくると多くの権限が基礎的自治体（市町村）に移譲されます。これに応じた多古町の執行体制・組織はどうあるべきと考えますか。

**町長** 国に集中している権限や財源特徴を活かした町づくりを行うことができるようにするものです。しかし、地域主権改革を進めるには基礎自治体の能力の拡充が必要になることや自治体間の行政サービスに当然差異が生じるものであり、住民の選択や判断は極めて重要なものになると考えています。地域主権が進展すると町はより一層、自己決定、自己責任の下、自主性をもって地域の課題に対応しなければなりません。これらの課題に対応するためには、職員の資質向上を図ることが重要と考えます。専門的知識の習得、習熟や法制執行能力の向上等、職員研修の充実に努めてまいります。また、懇談会、ワークショップ、地域フォーラムの開催等により地域ニーズの集約に努力していきたいと思っております。

**問** 教育委員会と地域主権の関連についての見通し、あるいは教育委員としての重要性をどう考えていますか。

**教育長** いろいろな権限を市町村に移譲する傾向にあります。人事も自分の町で採用することになると小さ

### 多古台開発の現状について

**問** 多古台開発は業者側の都合で中止されたと聞きますが、その詳細についてお聞かせください。

**町長** 7月になって急に業者から開発中止の申し入れがありました。業者の説明によると、当初の予定より開発コストの負担増が見込まれ、資金計画的に困難であること。空港関連企業などの社員住宅として集合住宅を計画したが、借り手が少なかったこと。事業パートナーの見込みが立たなかったこと。以上のようなことを総合的に勘案した結果であると聞いています。町として開発途中の撤退は地区住民や今後の町づくりに多大な影響を及ぼすと思います、工事着手前の時点で中止することが最善であったと考えております。今後はいろいろな角度から検討を加え、土地利用の方向性を示したいと考えています。

### 成田空港の将来展望について

**問** 成田国際空港離着陸30万回周辺自治体の要望と聞きますが、どうでしょうか。

**町長** 空港圏9市町で成田国際空港都市づくり推進会議を立ち上げ、成田空港の最大容量を空港会社に求めたところ、環境面及び施設面、運用面の制約を解消できれば現行の運用時間で

な町では大変不利になってしまっています。現状では大変困るとい状況です。

**町長** 教員や教育の専門家だけの判断に偏ることがないよう、教育委員は広く社会の常識や住民ニーズを的確に反映させるために必要であると考えています。

### 町の観光政策について

**問** 多古町には年間70万人もの観光客が来るといことですが、町には歴史財産がたくさんあります。観光政策をもっと積極的に進めるべきではないでしょうか。観光政策の推進は地域主権につながるものと考えますが、いかがですか。

**町長** 多古町は至る所に歴史の面影が色濃く残っています。また、栗山川と四季折々の花が咲き誇る自然があります。今後は多古町に数多くある歴史的財産、栗山川、道の駅などのネットワーク化を図り、観光客の集客に努めることや多古町の魅力を発信することは重要と考えています。

**問** 道の駅から日本寺への散歩コースを選定し整備することから始めませんか。地域では草刈りなどの整備については組織を作って対応したいと言っているのですが。

**町長** 都市整備課で観光ルートの確保などを計画しています。今年度中に立案し、方向性を定めてい

最大30万回まで可能であるとの回答を得て、その後、国・千葉県・空港会社・空港圏9市町の4者協議会で平成21年1月23日に30万回の拡大に向け取り組んでいくこととしたものです。

**問** 固定資産税に補助するとの話があるが、範囲はどう認識すべきか。

**町長** 環境対策として固定資産税に補助する補助拡大の要望がありますが、補助の範囲はいわゆる騒音地域全てではなく、法律で定められた特に騒音の著しい区域内であると考えますが、地域と共存共栄を望む時、今より積極的な対応が必要と考えます。

**問** 今後の増便に対する町の基本的な考え方を聞かせください。

**町長** 平成22年度から共同利用施設の維持管理費を電気代のみであったものを消耗品や修繕料など補助の範囲を拡大させ各区の負担軽減を図ったところですが、今後とも増便があれば何らかの環境対策を行っていくべきと考えております。

**問** 4000m滑走路下の自治体と多古町では騒音対策に多少遅れがあると思えるがどうでしょうか。

**町長** 騒音対策は空港周辺市町一律ではありません。空港建設の歴史や騒音の大きさにより4000m滑走路下に重点が置かれており、財政的な面もあることから平行滑走路側の本町は対策が遅れていることは否めません。近づける努力を



### 老人会の補助金について

**問** 多古町には行方不明の老人はいないとのことですが、これには社会福祉協議会に参加するボランティアの方々の力とともに老人会の存在も大きく影響していると思います。町の補助金は各クラブ一律の金額と聞きますが、人数に応じた配分を少しでも加算すればより積極的な活動が得られるのではないのでしょうか。

**町長** 多古町の高齢化率は4月現在で29・1%（県下54市町村で12番目）です。老人会への組織率は48%で周辺市町と比較しても高い組織率です。老人クラブは52あります。各クラブに5万1840円の補助金を出していますが、今後の予算編成の中で研究していきたいと思っております。

していきます。

**問** 空港周辺で圏央道インターを含め構想があればお聞かせください。

**町長** 空港東側に入口の設置を要望すると共に、インターチェンジ付近に高速バスへの乗り換えにより全国各地へのアクセス向上を図ったり、空港従業員の駐車場機能を補完するパークアンドバスライドの設置を検討しているところですが。

**問** 航空機の排気ガスの環境調査はどう考えていますか。

**町長** 空港会社は空港の諸活動が周辺大気に与える影響を把握するため、空港内外6カ所に大気質常時測定局を設置し常時測定を行っているとのことですが、町としても皆様方に心配があるといけないので、空港会社と協議しながら心配を取り除く努力をしてみたいと考えております。

※バスターミナル、バス停付近に自家用車専用の駐車場を設け、車に乗ってきた利用者は、そこでバスに乗り換え目的地へと向かうもの。



多古台の広大な土地を有効利用するには…

通告時間 80分

加瀬 芳廣 議員

# 多古台開発中止の 詳細を伺います

## 業者の都合により急に中止の申し出がありました

### 多古台開発の現状について

**問** 多古台開発は業者側の都合で中止されたと聞きますが、その詳細についてお聞かせください。

**町長** 7月になって急に業者から開発中止の申し入れがありました。業者の説明によると、当初の予定より開発コストの負担増が見込まれ、資金計画的に困難であること。空港関連企業などの社員住宅として集合住宅を計画したが、借り手が少なかったこと。事業パートナーの見込みが立たなかったこと。以上のようなことを総合的に勘案した結果であると聞いています。町として開発途中の撤退は地区住民や今後の町づくりに多大な影響を及ぼすと思います、工事着手前の時点で中止することが最善であったと考えております。今後はいろいろな角度から検討を加え、土地利用の方向性を示したいと考えています。

### 成田空港の将来展望について

**問** 成田国際空港離着陸30万回周辺自治体の要望と聞きますが、どうでしょうか。

**町長** 空港圏9市町で成田国際空港都市づくり推進会議を立ち上げ、成田空港の最大容量を空港会社に求めたところ、環境面及び施設面、運用面の制約を解消できれば現行の運用時間で

